

令和6年3月戸田市議会定例会前の記者会見

日時

2月15日（木）午前11時～

提出案件

提出案件 合計50件

- ・先議案件 3件
- ・一般案件 3件
- ・条例案件 22件
- ・予算案件 22件

市政情報

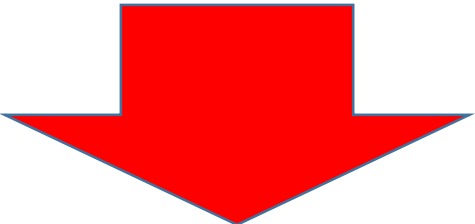
- 【第2弾】プレミアム付電子商品券「TODAPAY」^{トダペイ}の販売
- 「インターネットリテラシー教育に関する講演会」の開催
- 「こどもの居場所ポータルサイト」の公開

市議会定例会提出案件<<条例案件22件>>

議案第5号

戸田市スポーツ推進条例

目的 スポーツの持つ力を最大限活用し、市民の心身の健康を促し、生涯にわたって体力や技術、目的等に応じてスポーツに親しむことができるよう、関連施策をさらに推進していくため。



スポーツの推進に関する市の責務のほか、市民等やスポーツ
関連団体、事業者との連携やそれぞれの役割を規定。



関連施策

- 「ボートのまちづくりコンソーシアム」を立ち上げ、「ボートのまち戸田」を盛り上げるための施策を検討
- 市内スポーツチームを市を挙げて応援するとともに、トップレベルの選手と関わる機会を創出
- 市民がスポーツに親しめる場の充実に向けた、スポーツセンターの再整備

施行日 令和6年4月1日

令和6年2月15日 戸田市定例記者会見

市議会定例会提出案件<<条例案件22件>>

議案第6号 戸田市障がいを理由とする差別のない共生社会づくり条例

背景

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が改正され、令和6年4月1日から、**事業者の合理的配慮の提供が義務**付けられることとなり、社会的障壁や障害を理由とする差別をなくすための更なる取組が求められている。

市、市民、事業者が連携して、**共生社会を実現**するための指針として、本条例を制定する。

市の施策

- 共生社会に関する正しい理解を促進するための周知・啓発（講演会の開催・パンフレット作成など）
- これまで整備してきた相談体制や関係機関との連携に関するより一層の周知・啓発の実施

施行日

令和6年4月1日

戸田市
①施策の総合的な推進
②障がいのある方への合理的配慮の提供

市民
①共生社会に関する正しい理解を深めるよう努める
②市の施策への協力に努める

事業者
①共生社会に関する正しい理解を深めるよう努める
②市の施策への協力に努める
③障がいのある方への合理的配慮の提供

市議会定例会提出案件<<条例案件22件>>

県内初

議案第7号

戸田市認知症とともに生きるあたたかいまちづくり条例

背景

- ① 将来急激な高齢化が予測され、認知症高齢者の数の増加が見込まれる ▶ 取組のより一層の推進が必要となる
- ② 認知症に対する偏見が存在 ▶ 既存の先入観の払拭が求められる

認知症の方及びその家族等の意思が尊重され、誰もが安心して暮らせるあたたかいまちを実現するため、本条例を制定



市の施策

- ① 正しい知識の普及・理解の促進 ⇒ 認知症サポーター養成講座の実施・世界アルツハイマーデー啓発展示
- ② 認知症の方及びその家族等への支援 ⇒ 認知症本人ミーティング・認知症ケア相談室・成年後見中核機関の設置
- ③ 認知症になることを遅らせ、又は認知症の進行を緩やかにすることに資する施策 ⇒ 社会的処方取組を含めた社会資源の周知啓発、補聴器購入助成

施行日 令和6年4月1日

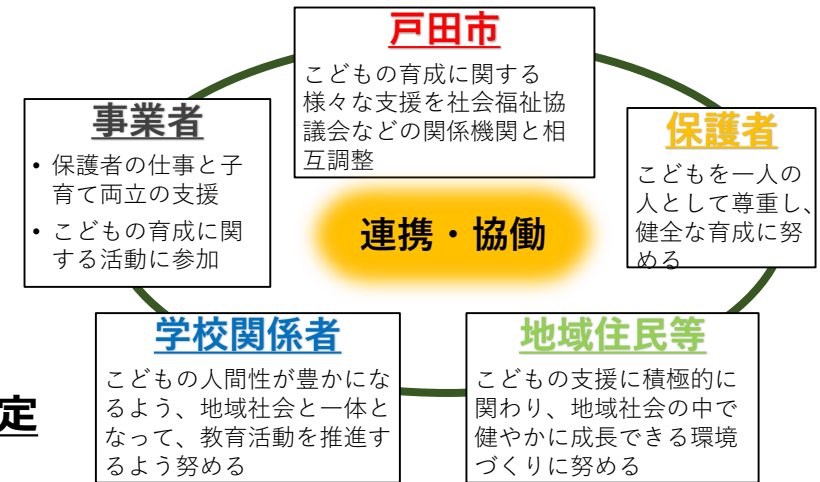
令和6年2月15日 戸田市定例記者会見

市議会定例会提出案件<<条例案件22件>>

議案第8号 戸田市地域で子育て支援を推進する条例

背景 核家族化、3年以上にわたるコロナ禍の影響により、子育てに対する孤独感・負担感は増加しており、虐待や貧困、ヤングケアラーの問題など、子育て世帯を取り巻く状況は、複雑化・深刻化している。

こどもが健やかに成長するために、こどもの成長を**地域全体で**
応援し、子育てに関わる方々の役割を定めるため、本条例を制定



主な基本的施策

- ①切れ目のない子育て支援 ⇒ 「こども家庭センター」を核とし、虐待等の各種**相談機能の強化**
- ②こどもの社会参加の機会の促進 ⇒ 市の施策について、こどもたちが**広く意見を表明する機会の創出**
- ③こどもの居場所づくり ⇒ **遊び・学び・集う**ことのできるこどもの居場所づくりの推進

施行日 公布の日

市議会定例会提出案件<<条例案件22件>>

議案第13号 戸田市犯罪被害者支援等条例を一部改正する条例

背景・目的

条例制定から5年が経過し、犯罪被害者等を取り巻く環境や支援のニーズが変化してきていることなどを踏まえ、支援内容の拡充を図る。

- 見舞金支給制度（遺族見舞金30万円、重傷病見舞金10万円）
- 二次的被害に関する定義を追加し犯罪被害者への理解を促進
- 事業者に対する努力義務規定を追加し支援体制を強化



効果

経済面や環境面、精神面など、様々な角度からの犯罪被害者等への支援体制が強化され、被害の軽減や被害からの早期回復を図る環境がより充実する。

施行日 令和6年4月1日

市議会定例会提出案件<<条例案件22件>>

議案第23号

戸田市道路占用料条例の一部を改正する条例

背景・目的

戸田駅西口駅前交通広場等を「歩行者利便増進道路（通称：ほこみち）」に指定し、令和6年4月から運用予定。制度を幅広く有効に活用できるよう、本条例に占用物件を追加する。

食事施設及び購買施設（道路法施行令第7条第8号に掲げる施設）

自転車等の駐輪施設（道路法施行令第7条第12号に掲げる施設）

の追加



事例：名古屋市（食事施設）

効果

「歩行者利便増進道路」制度の運用の幅が広がり、地域の魅力や賑わい創出のための道路空間の活用が促進される。これにより、地域の顔となる戸田駅西口駅周辺の活性化につながる。

施行日 令和6年4月1日



ほこみち指定場所(戸田駅西口)

令和6年2月15日 戸田市定例記者会見

令和5年度 3月補正予算(案)

一般会計(第10号補正)

2億8,255万5千円

【歳出】

①低所得者支援給付金事業の計上	: 271,137千円
②保育所等物価高騰対策支援事業の増	: 11,326千円
③学童保育室運営等事業の増	: 92千円

【歳入】

①物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増	: 271,137千円
②保育所等物価高騰対策事業に係る県支出金の増	: 5,662千円
③放課後児童クラブ物価高騰対策給付事業補助金の増	: 46千円
④財政調整基金繰入金の増	: 5,710千円

【繰越明許費】

①庁舎スロープ改修等工事の工期遅延に伴う繰越明許費の設定	: 205,838千円
②低所得者支援給付金事業の実施に伴う繰越明許費の設定	: 271,137千円

令和5年度 3月補正予算(案)

一般会計(第11号補正)

8億5,688万0千円

【主な歳出】

①施設型及び地域型保育給付事業の増	:	76,068千円
②生活保護扶助費の減	:	▲300,000千円
③新型コロナウイルスワクチン接種事業の減	:	▲777,732千円
④公共施設等整備基金積立金の増	:	499,248千円
⑤財政調整基金積立金の増	:	3,047,849千円

【主な歳入】

①地方消費税交付金の増	:	213,543千円
②生活保護費の減	:	▲226,337千円
③新型コロナウイルスワクチン接種事業国・県支出金の減	:	▲777,732千円
④繰越金の増	:	1,961,788千円

特別会計(8会計)

▲8億4,819万5千円

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| ①国民健康保険特別会計補正予算(第3号) | ⑤介護保険特別会計補正予算(第3号) |
| ②市民医療センター特別会計補正予算(第4号) | ⑥新曽第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号) |
| ③海外留学奨学事業特別会計補正予算(第1号) | ⑦新曽第一土地区画整理事業特別会計補正予算(第4号) |
| ④在宅介護支援事業特別会計補正予算(第3号) | ⑧後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) |

令和6年度 当初予算案



戸田市の財政案内人
おさいふくん

一般会計

624億6,600万0千円

(前年度比 +34億600万円 +5.8%)

特別会計合計

250億8,591万3千円

(前年度比 +15億1,021万9千円 +6.4%)

全会計合計

875億5,191万3千円

(前年度比 +49億1,621万9千円 +5.9%)

戸田市の未来をつくる「3大プロジェクト」の推進

3大プロジェクト実施の背景・課題

【戸田市が抱える社会的課題】

- 子育て不安を抱える保護者や困難な状況にある子どもの増加
- 人生100年時代に向けての健康づくりと生きがいづくり
- 気候変動により激甚化し頻発する災害



【3大プロジェクト】を推進し、

**未来の戸田市をより持続可能で、
誰一人取り残されない包摂的な社会へ**

各プロジェクトの理念

子ども応援プロジェクト

- 安心して妊娠・出産・子育てができる社会を目指す
- 社会的孤立を防止し、子どもが生き活きと過ごせる居場所を確保する
- 困難な状況にある子どもが誰一人取り残されることなく支援する

100年健康プロジェクト

- 健康に関心が高い方だけでなく、誰もが生活習慣病や寝たきりを予防
- 誰も取り残されない医療・福祉・地域連携
- 人生100年時代を見据えたシニア活躍の応援

防災プロジェクト

- 災害に強いまちを創る基盤整備
- 防災教育の推進
- 災害対応力の高い市役所の実現

子ども応援プロジェクト【保育の質・魅力向上】

新 とだの保育の質・魅力向上プロジェクト (276,285千円)

深刻化する保育士不足への対策と、「安心して、預けられ、働ける保育園」であるための保育の質と魅力等の向上を図るため、とだの保育の質・魅力向上プロジェクトを実施する。

【 ① 経済的支援 】

← 車の両輪 →

【 ② 保育園の質・魅力向上 】

① とだ保育士応援手当 (269,280千円)

保育士不足 が深刻化 → 待機児童や保留児童数の増加等が懸念

保育士の確保と定着化、離職防止策を講じる必要

現行

賞与
年額 **20万円**

倍増

新設

給与月額に34,000円上乗せ支給
年額 **40万8千円**

■対象者：市内民間保育所等に勤務する保育士（660人）

② とだの保育の質・魅力向上事業 (7,005千円)

「安心して、預けられ、働ける保育園」であるために…

保育の質と魅力等の向上が必要不可欠

「とだの保育」の全体的な底上げのため、2年間のプロジェクト実施

プロジェクト
立ち上げ

公立(7)・民間
保育園(50)、学
識経験者、行政
等で構成

協議・
プラン策定

保育の質・魅力向上
保育士の確保・定着化
保育士の労働環境改善等

新規事業等
の展開

実践的で良質な
研修、魅力を高
めるブランド事
業等の実効性あ
る取組

「利用者や保育士に選ばれる保育園づくり」を継続的に推進

子ども応援プロジェクト【不登校支援の充実】

拡

AIによるこどものSOSの早期発見・プッシュ型支援 (18,480千円)

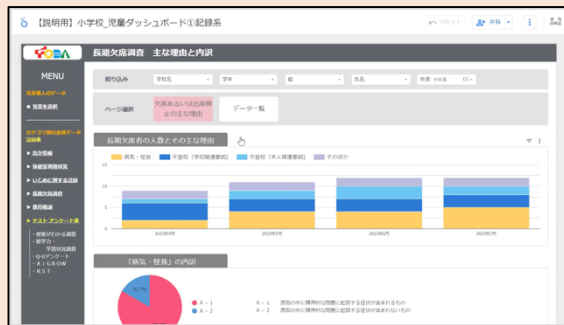
【経緯】

令和4年度から国の実証事業の採択を受け、個人情報の保護や倫理面での配慮を前提として、教育分野を軸に、部局横断でデータ連携を行う、「教育総合データベース（以下、「DB」）」の構築に取り組んでいる。

(※令和4年度デジタル庁実証事業、令和5年度こども家庭庁実証事業)

【事業の詳細】

①データの分析結果等を見やすくしたダッシュボードを実装し、子どもたちの状況をワンストップで把握。
AIを活用した予測モデルによる不登校等のリスク判定も実施。



※ダッシュボードのイメージ。個人単位や学校単位等でデータを可視化。

【目的】

- DBにより子どもたちのデータをワンストップで可視化し、不登校など潜在的に支援が必要な子どもの早期発見、プッシュ型支援を実現する。
- AIを活用した予測モデルを構築することで、教師等の判断をサポートし、子どもたちのSOSの早期発見・早期対応に繋げる。

②ケース会議等の場で、従来の教師の見取りに加え、不登校等の予測結果や各種データをダッシュボードで確認し、関係者による支援策の検討や適切な支援に繋げる。



子ども応援プロジェクト【不審者の学校侵入防止】

拡 小・中学校の防犯対策強化 (232,375千円)

令和5年3月に発生した美笹中学校での不審者侵入事件を受け、市内全ての小中学校の防犯機能の強化を図り、児童生徒がより安全、安心に生活できる環境を整備する。

(1) 安全性向上のためのフェンス(以下安全フェンス)の設置 及び 玄関のオートロック化 (199,111千円)

市立小中学校 17校 (美笹中学校は対策済)

- 敷地外周部への安全フェンスの設置
- 来校者用玄関のオートロック化

●安全フェンス設置 (イメージ)



●オートロック化 (イメージ)



来校者用玄関



モニター付インターホン型

(2) ネットランチャーの配備 (33,264千円)

学校警備員や新たに設置するフェンス・玄関オートロックにより不審者の侵入防止を図るが、万が一、不審者が侵入した場合に備えて、市立小中学校 18校の全教室 (特別支援学級含む) に、操作が簡易で接近せずに使用できるネットランチャーを設置する。

●ネットランチャー (イメージ)



- ※ 小・中合わせて720機配備
- ※ 日本工機株式会社HPより提供
「ネットランチャー」は日本工機株式会社の登録商標です。



子ども応援プロジェクト【こどもの居場所の充実】

新 拡 福祉保健センターに新たな子ども支援活動拠点の整備 (9,285千円)

埼玉版スーパー・シティプロジェクトのモデル事業として、こどもの居場所に「コンパクト（多様な主体の交流機能）」と「レジリエント（助け合い機能）」の機能を付加した「新たな子ども支援活動拠点」を福祉保健センターに整備する。

- ①芝生、ウッドデッキには、遊具等を新たに設置し、親子や地域住民が集う場を整備
- ②建物内には、乳幼児から高齢者まで交流できる場やこどもの居場所ネットワークや民生委員など多様な主体が交流する場を整備
- ③調理室には、食育のほか、多世代が調理を通じて交流する場を整備



拡 子どもの居場所の整備・拡充 (15,821千円)

子どもの多様な居場所を整備する。

- ・学童保育室を補完する
- 「とだっこサマークラブ」を市内 **6か所** で開催予定
- ・自然体験活動の充実を図る
- 「プレーパーク」 **2.0回** の実施
- ・青少年の居場所の拡大



拡 子どもが外遊びできる環境の充実 (127,455千円)

喜沢二丁目児童遊園地と新田口公園において、地域の意見を踏まえながらボール遊びができる施設を整備する。



現状の喜沢2丁目児童遊園地



リニューアルイメージ

子ども応援プロジェクト【教育や子育て支援の充実】

拡 児童・生徒用タブレットの更新 (95,625千円)

平成30年度にいち早く整備した児童・生徒用のタブレット端末を更新するとともに、端末故障時の代替機となる予備機を充実させる。



■ 入替え台数	
chromebook	: 3,868台
iPad	: 334台
計	: 4,202台

拡 高校3年生相当までの医療費支給制度の拡充 (84,411千円)

こどもの健康の向上や子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、こども医療費の通院費の支給対象を、令和6年7月診療分から高校3年生相当まで拡大する。

※原則、埼玉県内の医療機関での窓口負担なし



拡 こども家庭センターの体制強化や新たな支援による子育て支援の充実 (48,552千円)

全ての妊産婦、子ども、子育て世代を対象とした切れ目のない一体的な支援を充実させるため、こども家庭センターの体制を強化するとともに、新たな子育て支援プログラムを導入する。

- こども家庭センターの体制強化
 - ・ 母子保健と児童福祉を統合した「親子健やか室」を新たに組織する。
- 新たな子育て支援プログラム
 - ・ 特定妊婦や要支援児童等に対するサポートプランを作成し、包括的な支援を行う。
 - ・ 児童発達支援事業所等の外部の知見を活用したペアレントトレーニングを新たに開催する。

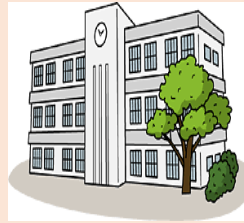


子ども応援プロジェクト【学校・学童保育室の施設整備】

新 小学校増改築等工事 (3,037,079千円)

小学校校舎の老朽化や児童数の増加による教室不足を解消するため、**市内4校の増改築等工事**を実施。

- 実施校
戸田第一小、新曽小、芦原小、戸田南小



新 中学校改築等工事 (16,060千円)

美笹中学校校舎の老朽化に伴う建て替えのため、**基本計画の策定**を実施。

- スケジュール（仮）※基本計画の中で検討
令和6年度 基本計画策定
令和7年度から8年度 設計（基本設計、実施設計）
令和9年度から11年度 工事

拡 小中学校バリアフリー等工事 (132,990千円)

市内全ての小中学校を対象として、**バリアフリー化及びトイレ洋式化のための改修工事**を実施する。

- 令和6年度実施
バリアフリー改修工事（喜沢中、新曽中、笹目中）

※令和7年度に小学校10校、中学校3校の工事を実施し、市内全ての小中学校のバリアフリー環境整備が完了する予定

拡 学童保育室整備（戸一小・芦原小） (130,108千円)

戸田第一小学校及び芦原小学校の待機児童対策として、戸田第一小学校第1学童保育室の建て替え及び芦原小学校第2学童保育室を設置する。

- スケジュール（完成予定）
令和6年10月 戸田第一小第1学童保育室 定員25人増
令和7年2月 芦原小第2学童保育室 定員30人増

100年健康プロジェクト【妊娠・出産前後の女性支援】

【拡】 妊娠・出産前後の女性に対する支援の拡大と子育て支援アプリの導入 (59,150千円)

(1) 産後ケア事業の拡大

・産後ケア事業の「訪問型」に加え、新たに、助産所等へ宿泊し、産婦及びご家族の生活に合わせた自宅育児方法を支援する「**宿泊型**」(延泊可)及び助産所等に通所し、自宅育児の相談に対応する「**通所型**」を実施する。

(2) 産後サポートプログラムの新規導入・実施

出産後1年未満のすべての産婦が、産後も安心して子育てができる環境を充実させるため、産後ケアプログラムを新たに導入・実施する。

- ・「産後ケア教室」 : 毎月1回、産婦のニーズに沿った教室を開催する。
- ・「産後サポート事業」 : **産婦一人につき2万円分**のクーポン券を配布し、複数のメニューから希望するメニューを選択・利用できる産後サポートを行う。

(メニュー例) ○沐浴レッスン(パパ同時レッスン) ○24時間助産師LINE相談
○母乳育児・母乳栄養相談 ○お弁当の配食サービス

(3) 子育て支援アプリ「母子モ」導入

「妊娠届出書・各種申請書のデジタル化」と「申請・面談予約のオンライン化」を図るため、子育て支援アプリ『母子モ』を導入する。

- 【アプリ導入で可能なこと】
- ・妊娠届出書、産後ケア事業等の申請書の電子化
 - ・「電子母子手帳機能」で、子どもの身長・体重等を記録
 - ・保健師との面談等の予約
 - ・子育て動画の配信



100年健康プロジェクト【食育推進による健康づくり】

拡 全ての世代の食事を改善 (2,566千円)

市民一人ひとりが食生活改善に取り組めるよう、「食」への関心を高める取組を行い、生活習慣病の予防、健康寿命の延伸につなげる。

(1) 「朝ごはんキッズ料理教室」と「朝食自慢レシピのコンテスト」開催

小学生親子を対象に食育の大切さ、レシピ講座・実習の料理教室を開催する。
また我が家自慢の朝食レシピを募集し、優秀レシピの表彰を行うなど、食を通じた健康づくりを推進する。

(2) 服部学園 服部幸應校長によるセミナー・講演会開催

ライフスタイルの多様化などによる、子どもたちの生活習慣の乱れが、学習意欲や体力、気力の低下の要因の一つとして指摘されている中、「早寝・早起き・朝ごはん」の励行など、基本的な生活習慣の向上を目的にセミナー・講演会を開催する。

(3) すこやかTODAシリーズの展開

「すこやかTODAシリーズ」として新たに「すこやかTODA定食」の開発販売を行う。

(4) スマートミール※の普及啓発

スマートミールに関する講演会を行う。また、市内事業者がスマートミール認証を取得するための相談・助言を行う。

※スマートミール=健康づくりに役立つ栄養バランスのとれた美味しい食事のこと



100年健康プロジェクト【歩きたくなるまちづくり】

拡 戸田市ウォーカブル推進事業 (19,910千円)

人々が交流できる賑わいの場を創出する「まちなかウォーカブル推進事業」を推進する。

令和6年度は北戸田駅周辺の賑わい空間の形成を目指し、ウォーカブルな街の将来像を描いたビジョンを策定する。



新 コバトンALKOOマイレージの加入促進 (8,442千円) 拡 (TODAPAYを使った健康マイレージのインセンティブ)

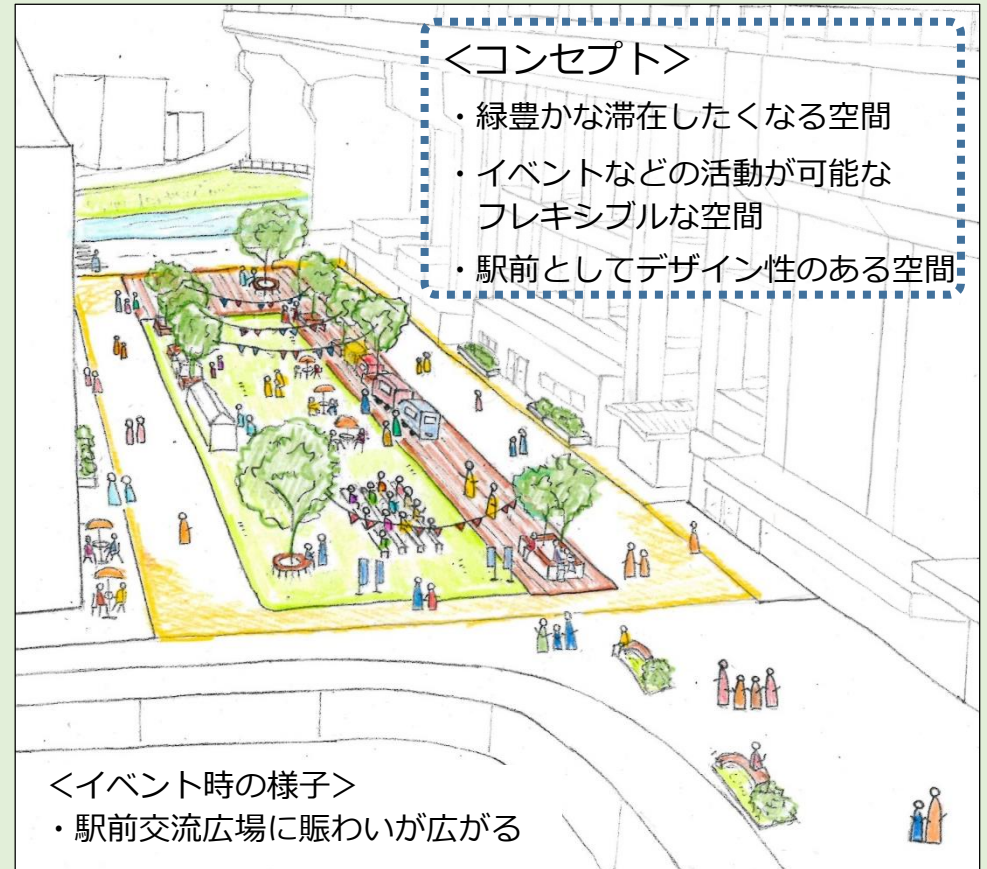
今年度中に運用が終了する歩数アプリ「コバトン健康マイレージ」から新たな「コバトンALKOOマイレージ」への移行促進に加えて、TODAPAYのさらなる普及につなげる

■実施内容

「コバトンALKOOマイレージ」とTODAPAYアプリの両方に登録した市民に対し、500円分のTODAPAYポイントを付与

新 北戸田駅西口駅前交通広場整備 (260,127千円)

新曽第一土地区画整理事業の一環として、北戸田駅前の交通広場や交流エリアなどを整備する。



100年健康プロジェクト【シニア世代の健康増進】

新 高齢者補聴器購入費助成 (2,000千円)

高齢者の他者とのコミュニケーションを確保するとともに、認知機能の低下や閉じこもりを予防し、積極的な社会参加を促進するため、補聴器購入費の一部を助成する。

対象者は、医師により必要性を認められている等の要件を満たす高齢者で、**一人一回限り、県内最高水準の4万円を限度**として助成する。



拡 健康福祉の杜改修工事 (130,793千円)

竣工から25年以上が経過した健康福祉の杜について、利用者への安心・安全なサービス提供を維持するため、主に設備面の改修工事を行う。

改修工事は令和6年度から令和8年度にかけての約2年間で実施する。



新 介護ロボット等導入支援補助 (2,000千円)

介護サービス事業所における介護従事者の負担軽減及び定着のため、介護ロボット及びICT機器の導入に係る費用に対し、**県内市町村では初となる補助を行う。**

補助額は**1事業所当たり10万円を限度**とする。



拡 シニア向け企業説明会、見学会の開催 (248千円) (シニア活躍の担い手の育成)

豊富な知識・経験・技術を持つシニアが住み慣れた地域で「活躍」出来る社会参加への支援をする。

■実施内容

ハローワーク川口と連携し、シニア向けの説明会を開催する。

シニア人材を募集する企業を1ヶ所に集めて企業説明会を開催する。また、企業を見学する機会を創出する。



100年健康プロジェクト【健康政策の推進】

拡 キッズ健幸アンバサダー養成プロジェクト (17,259千円)

市内小学校にオリンピック・パラリンピアンを招き、スポーツの楽しさや、運動による健康づくりの重要性などを理解し、まわりの人にも伝えていくアンバサダーを養成する。

⇒令和6年度は6校で実施

※令和5年度：5校、令和4年度：1校
3年間で全小学校で実施



令和5年度戸田東小講師：有森裕子さん

新 ひきこもり相談体制の強化 (1,552千円)

義務教育終了後に、教育センターと連携し、地域の相談支援への切れ目ない支援が受けられるよう、体制等の整備を実施する。

■実施内容

- ・臨床心理士の配置
(月2回、福祉保健センター内で相談支援の実施)
- ・ひきこもり問題普及啓発のための講演会の開催

新 带状疱疹ワクチンの接種費用助成 (29,962千円)

任意接種である带状疱疹ワクチンの接種費用は個人負担となっており費用も高額であることから、令和6年4月以降、**接種費用の一部を助成**する。

- 対象者：50歳以上の市民
- 助成額：生ワクチン 4,000円
不活化ワクチン 10,000円×2回



拡 医療・福祉・地域連携による「社会的処方」の周知・啓発 (220千円)

蕨戸田市医師会と連携し、市民医療センターと公平病院の実証実験を経て、「**社会的処方**」を市内全域に展開

■「社会的処方」の取組

医師が患者の健康改善のために、「集い」・「運動」・「栄養」などの地域の社会資源につなげる必要性を判断し、コーディネーター役となるリンクワーカー（市内の地域包括支援センター等に配置）と連携して、地域の活動につなげる

※取組実施医療機関数：22医療機関（令和6年1月末現在）

防災プロジェクト【大災害への備え】

拡 能登半島地震を踏まえた大災害への備えの充実① (301,079千円)

(1) 予備費の倍増 (100,000千円 ⇒ 200,000千円)

- ・大災害発生直後、国や他自治体の支援が届くまでの間、予算措置の時間を要することなく、機動的な財政支出を実現

(2) 災害備蓄品の強化 (41,562千円)

- ・被災地で特に問題となった生活用水の不足と電源不足への対応のため、トイレ、非常用電源などを新たに購入



自動ラップトイレ (イメージ)



災害用トイレ (イメージ)



蓄電池 (イメージ)



発電機 (イメージ)

防災プロジェクト【大災害への備え】

拡 能登半島地震を踏まえた大災害への備えの充実② (301,079千円)

(3) 既存住宅耐震診断・改修補助金の拡充

(1,000千円⇒2,000千円)

地震による家屋倒壊等の防止を目的に補助金額を増額する

1981年以前に着工された一戸建て住宅または共同住宅が対象

耐震診断

- ・一戸建て住宅または木造共同住宅 上限額10万円/棟
- ・木造以外の共同住宅 上限額 100万円/棟
(2万円/戸)

耐震改修 (木造住宅のみ対象)

- ・一般耐震改修 上限額 50万円/棟
- ・簡易耐震改修 上限額 20万円/棟



(4) 危険なブロック塀撤去に係る補助金の拡充

(1,200千円⇒3,000千円)

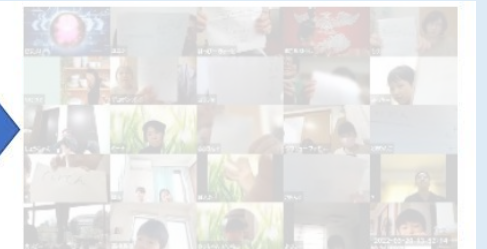
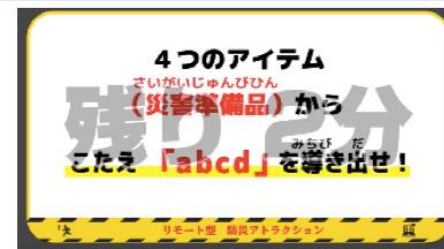
市内の危険なブロック塀の解消を目的に補助金額を増額する

- ・撤去 上限額 20万円
- ・築造等 上限額 10万円



(5) デジタル防災訓練 (2,827千円)

ゲーム感覚を取り入れた防災訓練をリモートで実施することで、家庭で気軽に参加できる防災訓練の機会を創出し、防災意識の啓発を図る。



防災プロジェクト【大災害への備え】

拡 東部分署建替 (86,470千円)

東部分署の消防活動拠点機能の強化を図るため、改築工事を行う。

- 事業スケジュール
令和6年度～令和8年度 改築工事
令和8年度 供用開始



拡 消防車両の更新等 (92,874千円)

消防署に配備されている35m級はしご付き消防自動車の修繕を実施する。

また、消防車両等更新計画に基づき、東部分署の水槽付き消防ポンプ自動車の更新を実施し、消防力の強化を図る。



新 避難場所提供に関する民間企業との協定

災害時において、公共施設以外の避難場所確保や必要な物資や資器材の提供をうけるため、民間企業や板橋区と新たに協定を締結。今後も多様な企業と協定を締結することにより、災害時の対応強化を推進する。

- ・ 新規建設された物流倉庫と緊急避難場所の確保（物資提供含む）
- ・ 市内ホテルへの2次避難受け入れ場所の確保
- ・ 必要な物資や資器材の提供と被災者の一時的な避難施設の確保



防災プロジェクト【危機管理体制の充実】

拡 危機管理防災センター機能の追加 (36,384千円)

災害対策本部と離れた拠点に、災害情報を共有するための情報伝達手段を整備することで、適切な災害対応や迅速な情報発信を可能とする危機管理防災センター機能を実現。

(1) 移動系無線端末100台導入 (31,069千円)

位置情報の把握や、チャット機能、動画通信機能等を有する最新の移動系無線機を導入する

(2) 災害時情報共有基盤（電子黒板）4台設置 (5,315千円)

複数拠点との相互の情報共有・伝達を可能とする電子黒板を導入し、適切な状況把握と効率的な災害対応を目指す



【拡】 市内の浸水対策① (5,449,500千円)

(1) 雨水貯留管整備 (5,449,500千円)

戸田駅西口及び新曽地区北大通り周辺の浸水被害の軽減を図るため、北大通りの地下に雨水貯留施設（貯留量約26,000m³、内径6m、延長約920m）の整備を実施している。

令和3年度から工事着手し、令和6年度末に完成予定。

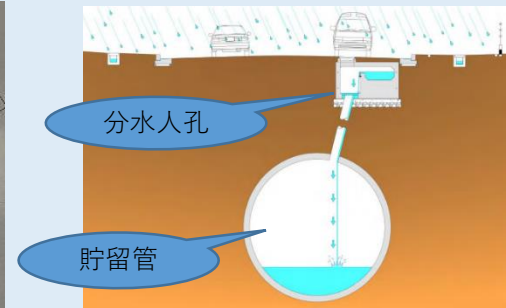
令和6年度は、シールドマシンでの掘進作業を完了させるほか、分水人孔やポンプ施設の設置を行う。



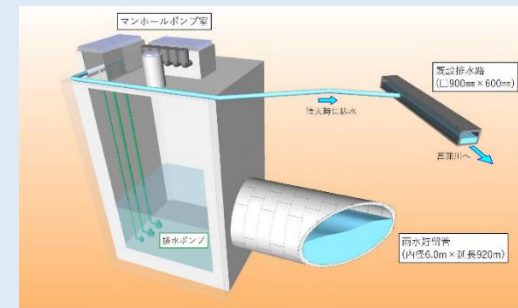
シールドマシン



初期掘進状況



分水人孔イメージ図
(前田・西松・福田JV提供)



ポンプ施設イメージ図
(前田・西松・福田JV提供)

■ 市民への見学会

市民の防災意識の向上や浸水対策事業への理解を深めることを目的に、完成後に見学会を開催予定。



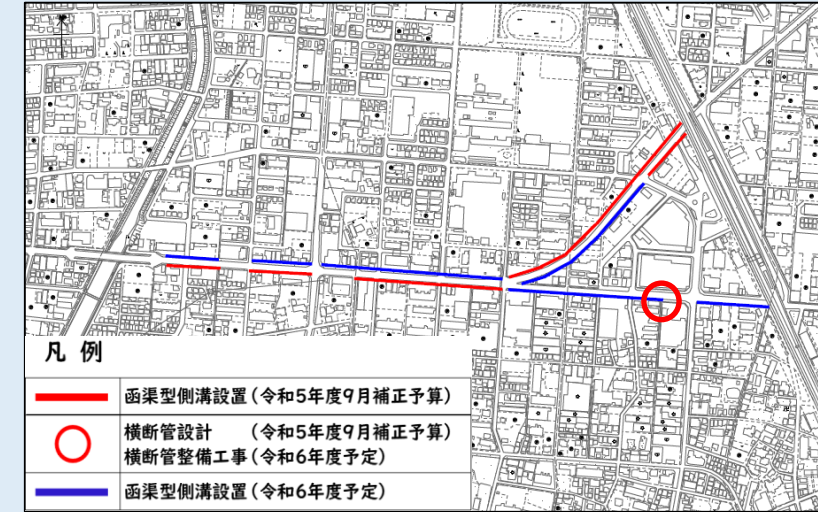
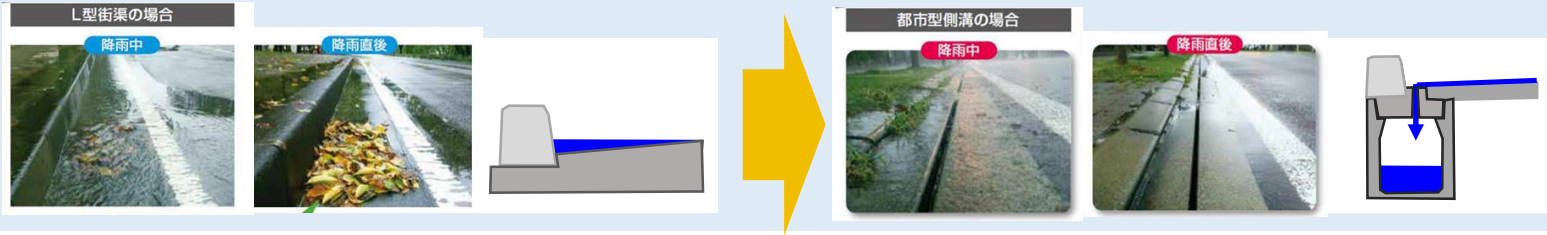
見学イメージ
(東京都和田弥生幹線)

【拡】市内の浸水対策② (911,920千円)

(2) 道路冠水対策 (366,556千円)

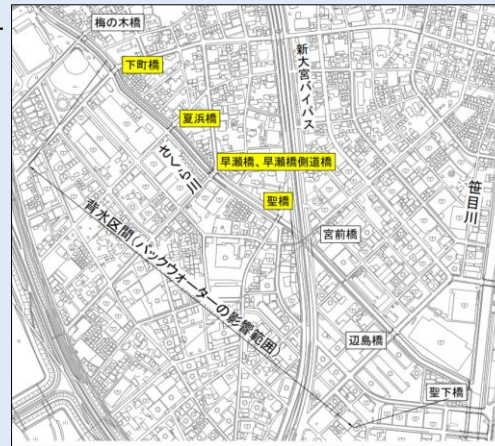
集中豪雨による道路冠水対策として「市役所南通り」、「北大通り」の雨水排水施設整備及び戸田駅西口駅前の道路冠水対策として雨水横断施設の改修を実施する。

※函渠型（都市型）側溝設置効果のイメージ



(3) 道路橋からの溢水対策 (59,877千円)

さくら川の橋梁のうち、道路（橋面）が堤防よりも低いため、溢水による浸水被害の恐れがある橋梁について、架け替えまでの対策として、止水パネル等を設置する。



(4) 上戸田川・さくら川整備事業 (485,487千円)

上戸田川、さくら川の治水機能の向上を図るため、埼玉県や流域自治体と連携しながら河道整備、護岸改修整備を実施し、水害に対し安全・安心に生活できるまちづくりを推進する。



令和6年度の主な取組（3大プロジェクト以外の取組）

新

2050年脱炭素社会実現に向けた各種取組（26,167千円）

今年度中に2050年ゼロカーボンシティを表明し、温室効果ガス削減に向けた取組を行っていく。

（1）市で取り組むこと（18,567千円）

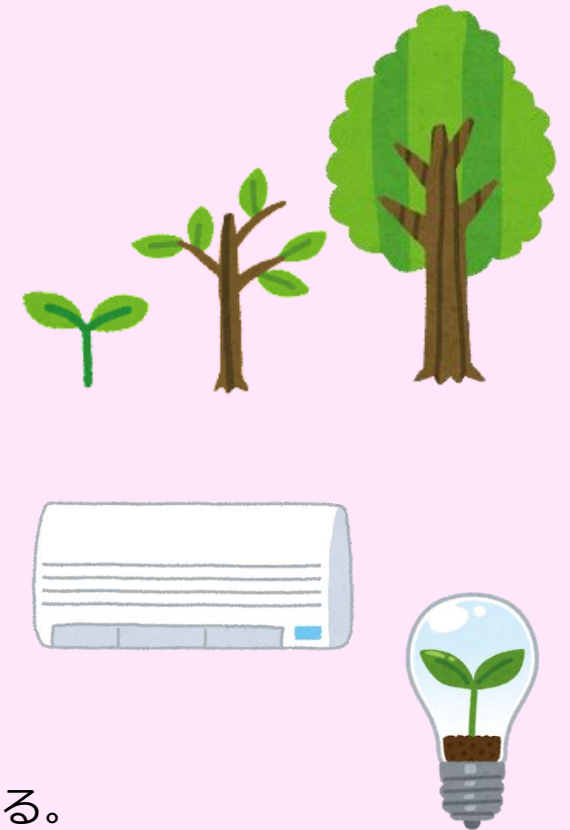
■実施内容

- ・美里町との森林整備によるカーボンオフセットに関する協定の締結
協定の締結に加え、植樹体験などのバスツアーを実施する。
- ・公共施設等の太陽光発電設備等導入調査
- ・公共施設への再エネ100%電力の調達

（2）市民・事業者の取組へのサポート（7,600千円）

■実施内容

- ・省エネ家電買換補助金
市民の省エネ家電（エアコン・冷蔵庫）への買い換えに対して補助を実施する。
- ・再エネ由来電力への切替支援
再エネ由来100%電力を契約した市民・事業者に対し、協力金を支給する。
- ・事業者へのエネルギー対策の支援
温室効果ガス排出量の可視化や省エネ診断等のエネルギー対策に対し、補助金を支給する。



令和6年度の主な取組（3大プロジェクト以外の取組）

拡 市内経済の応援（261,440千円）

（1）プレミアム付電子商品券事業「TODAPAY」（227,982千円）

市民生活と市内事業者を支援するため、戸田市商工会と連携し、プレミアム付電子商品券であるTODAPAYを継続して実施する。



■実施内容

- ①春実施（令和5年12月定例会で予算措置済）
プレミアム率30%、30,000セット販売、利用期間4月から8月まで
- ②秋実施
プレミアム率20%、25,000セット販売、利用期間9月から翌年1月まで

（2）DX伴走支援、補助金の拡充（19,540千円）

市内事業者の産業競争力の強化を図るため、外部の知見を活用したDX伴走型支援事業を実施する。



（3）市の魅力PR冊子作製事業

（13,918千円）

制作から約5年が経過する「るるぶ特別編集 戸田」に代わる市のPR冊子を新たに制作し、観光資源や戸田ブランド等を発信する。



令和6年度の主な取組（3大プロジェクト以外の取組）

拡 スポーツの推進（11,848千円）

（1）スポーツセンター再整備に係る「基本構想」の策定（10,334千円）

施設のコンセプトや導入施設等をまとめる「基本構想」を策定する。

- ①基本構想策定に係る検討委員会の立上げ
- ②施設の現況整理や施設再編に当たっての課題の整理
- ③市民・スポーツ関連団体への施設ニーズ等調査



（2）「ボートのまちづくりコンソーシアム」による協議・イベントの実施（714千円）

地域住民、ボート関係者及び行政の協働による協議・イベントを実施する。

- ①地域課題の共有及び解決に向けての協議
- ②戸田ボートコースなどを会場としたボートに触れることができるイベントの実施
➢「ボートのまち戸田」のイメージ定着、関心度の向上、地域への愛着の形成につなげる。



（3）市内スポーツチーム応援の気運醸成（800千円）

地域資源であるトップリーグで活躍する市内スポーツチーム（戸田中央メディックス埼玉、ヤクルトレビんズ）を市を挙げて応援し、トップレベルのスポーツに触れる機会やスポーツ選手のモチベーション向上につなげる。



【第2弾】プレミアム付電子商品券「TODAPAY」を販売します

物価高騰の影響を受けている市内経済を支援するため、昨年に引き続き、商工会と連携して、スマートフォンアプリ「TODAPAY」を活用したプレミアム付電子商品券の抽選販売を実施します。



【申込期間】 3月8日（金）～29日（金）

【申込方法】 スマートフォンアプリ「TODAPAY」から

【対象者】 市内在住・在勤者

【利用期間】 4月22日（月）～8月31日（土）

【発行総数】 30,000セット（1人当たりの上限：3セット）

【対象店舗】 市内の取扱加盟店（約400店舗）

「インターネットリテラシー教育に関する講演会」の開催

令和5年12月26日に「戸田市インターネットの誹謗中傷等の防止に関する条例」を施行。
市民が被害者にも加害者にもならないよう、誹謗中傷の怖さやインターネットを利用する上での正しい知識を身に付けていただくために、小学5、6年生とその保護者を対象に講演会を実施。

【日時】

2月21日（水）①午前11時35分～午後0時20分（対象：6年生）

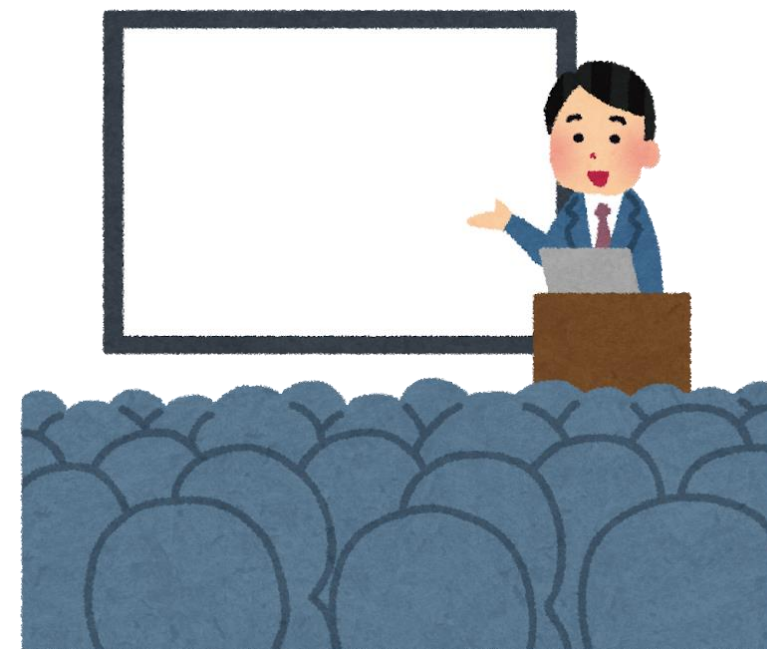
②午後1時50分～2時35分（対象：5年生）

【場所】

戸田市立新曽北小学校 体育館

【講師】

戸田総合法律事務所 代表 中澤佑一 弁護士



「こどもの居場所ポータルサイト」の公開

事業の概要

- ・戸田市におけるこどもの居場所に関する情報をより多くの方に知ってもらうため、「こどもの居場所ポータルサイト」を公開
- ・周知・啓発のため同サイトのQRコードを付したキーホルダーを令和6年4月上旬、市内在住の全小学生へ配布
※未就学児の保護者、中・高校生へはカードを配布

サイトの公開時期・特徴

【時期】

令和6年1月30日（火）～

【特徴】

- ・行きたい居場所を簡単に検索・発見できるよう「**居場所マップ**」や「**イベントカレンダー**」などの検索ツール機能付き
- ・団体のイベントに加え、市が実施するこどものイベント情報も掲載

その他の取組み

のぼり、看板プレート、ステッカーの作成



<こどもの居場所ポータルサイト>



<キーホルダー>